

高山市文化

No.218 2020.4.1 Culture in Takayama

一般社団法人 高山市文化協会 発行

高山市昭和町1丁目 高山市市民文化会館内 Tel.34-6550 Fax.34-6877
 メールアドレス ●mail@takayama-bunka.org
 ホームページアドレス ●http://www.takayama-bunka.org
 文化情報番組「すばらしき文化の和」 ●HitsFM(76.5MHz) 水曜AM9:30より放送中



日頃は、一般社団法人高山市文化協会の運営に対し、皆様の格別なご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年度、高山市文化協会設立七十周年記念事業として取り組んだ、高山市名誉市民 瀧井孝作原作の映画『初めての女』の制作には、多くの市民、企業、団体の皆様の温かいご支援をいただき、素晴らしい作品が完成しました。心から感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、行事の縮小、延期、中止などの事態を招き、皆様には大変ご迷惑をお掛けしています。延期となった事業につきましては、時期を見極めて実施したいと考えていますので、ご理解いただきたいと思います。

また、今年度から会費の値上げをさせていただきます。当協会の更なる安定した事業の実施と経営基盤の確立のため、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

今年度は次世代を見据え、



飛騨民俗村・文学散歩道文学碑
早船ちよ 小説『峠』の序詞



一般社団法人 高山市文化協会
会長 小林 浩

令和三年度 郷土と心を豊かにするための文化

高山市から委託された「市民文化芸術鑑賞事業」の充実と、協会独自の「高山文化フォーラム」「飛騨文芸祭」などの各種事業において支所地域との連携を深め、いつでも、誰でも、身近に文化活動に参加できる条件整備を進めます。

また、市民をはじめ宿泊観光客への行事案内や、新しい情報網を活用した広報の在り方を研究し、会員の拡大と信頼される文化協会となるよう努力します。

本年度第十回を迎える「日本板画院東海支部高山展」は、全国から応募された優秀作品や地元作家の作品を展示する

高山市文化協会 会員募集

高山市文化協会は、昭和24年に設立し、昨年70周年を迎えました。これからも、芸術・学術の普及と向上に関する事業を実施し、会員の皆様と地域文化の発展に寄与していきたいと考えています。当協会にぜひ入会していただき、これからの高山の文化を応援してください。

- ◆入会資格 どなたでもご入会いただけます。
- ◆年会費 個人4,000円、団体7,000円、賛助(企業) 12,000円
- ◆特典① 毎月発行する広報「高山の文化」及び各種案内を郵送します。
- ◆特典② 高山メセナメイトと同様の会員資格(チケット優待、他)が得られます。なお、個人会員は2名分、団体会員は4名分、賛助会員は5名分。
- ◆特典③ 広報やHits FMを使い、団体の紹介や発表会の告知を行う事が出来ます(要申込)。また、団体として6月開催の高山文化フォーラムに参加できます。
- ◆特典④ 会員対象の研修旅行や講演会を開催します。

「岡目(目)」
 自らを「妄想」の人と云っていた大下宣子さんが亡くなって四十九日も過ぎた。短歌結社「新アララギ」同人で高山市文化協会の文化功労者。亡くなる前の十五日間は、毎日自宅近くのソバ屋「えびす」に通って鴨なんばんを食べ続けたという。

確かに鴨なんばんは美味しいが、その他に彼女なりの何か文学的なメッセージがあるような気もする。太宰治の死んだ日は桜桃忌。珍しいサクランボを家を持って帰れば、子供達の喜ぶ顔が目につくが、酒場で一人で食べてしまう。自分の弱さや不安、どうしようもない生き方を、サクランボで表現した。

大下さんは父の戦死、夫の早世、自らの末期ガンと、どうしようもないやり切れなさの中で、短歌や小説を次々と発表した。見栄や嫉妬や妄想も混ぜ合わせて、文学に昇華していった。

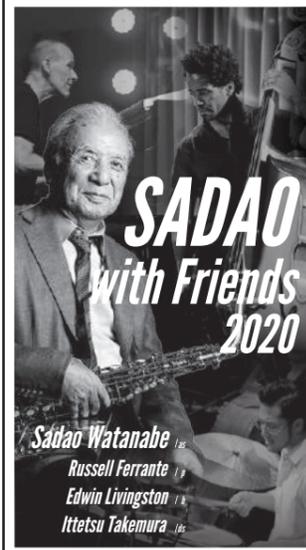
「新アララギ」の雁部貞夫代表は、葬儀で「朝日新聞の『折々の歌』に、生存者で採り上げられたただ一人の人」と讃えて悼んだ。妄想は枯野をめぐり、鴨なんばんのうまい季節は終わった。

〈ガンモン毛筆〉 合掌

市民文化芸術鑑賞事業

●主催 高山市・(一社)高山市文化協会 ●お問い合わせ (一社)高山市文化協会 (tel.0577-34-6550)

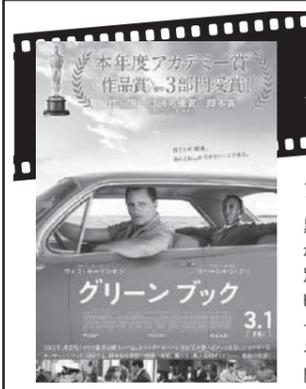
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期または中止になる場合がございます。ご理解ください。



中止・再演のお知らせ

4月10日(金)に開催を予定していた「SADAO with Friends 2020」公演は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、新たなメンバーによるコンサートを年内に開催する予定です。

チケットについてはそのままご利用いただけますので、大切にお持ちください。キャンセルされる場合は、購入された販売所または高山市市民文化会館にて払い戻しを受けてください。ご迷惑をお掛けしますが、何卒よろしくお願い致します。



ワンコインシネマ

グリーンブック

黒人ピアニストと彼に雇われた用心棒兼運転手が、黒人用ガイド「グリーンブック」を手に人種差別が残るアメリカ南部を巡る人間ドラマ。実在のピアニスト「ドクターシャリー」が実際に行ったアメリカ最南部を巡るツアーが基になっている。2019年の第91回アカデミー賞で、作品部門を含む3部門を受賞。

4/13 月

高山市市民文化会館 小ホール

①午後2時～②午後7時～ (開場各回30分前) 定員 380名
 今年度共通券 4月7日(火)より文化会館にて発売開始
 全席自由 500円 (1回券・当日同料金)

桃源郷寄席 2020 文珍登場!



6/25 木 午後7時開演 / 午後6時30分開場
 久々野公民館ホール

チケット料金(税込) 全席指定 チケット発売
 [一般].....3,000円
 [メセナメイト会員].....2,500円
 [ジュニア(18才以下)].....500円
 ※未就学児入場不可
 プレイガイド 高山市市民文化会館 久々野公民館
 ネット受付 http://www.takayama-bunka.org/forms/20200625togen.html
 ※窓口販売で完売した場合は受付をいけません。

トム・プロジェクト プロデュース



出演: 榎原郁恵、岡本麗 他

仲の悪い母娘2人住まいの家に通うホームヘルパーが、母と娘それぞれから相手の事を調べてほしいと頼まれることから始まるホームコメディ。娘の不倫と母のギャンブル癖、そして主人公の死んだ父親と母娘の関係が絡み合い、問題は複雑になっていく。そんな中、母親に認知症の疑惑が浮上し…。痛快!ホームコメディ!!

7/1 水 午後7時開演 / 午後6時30分開場
 高山市市民文化会館 小ホール

チケット料金(税込) 全席指定 チケット発売
 [一般].....3,000円
 [メセナメイト会員].....2,500円
 [ジュニア(18才以下)].....1,000円
 ※未就学児入場不可
 プレイガイド 高山市市民文化会館
 ネット受付 http://www.takayama-bunka.org/forms/20200701tanuki.html
 ※窓口販売で完売した場合は受付をいけません。

「音楽文化の発展とともに」小坂計時

小坂法幸

昭和六年、高山市本町に生まれた父計時は、祖父利三の起こした高山レコード商会の後を継いで、社名を「有限会社コサカ楽器」と改め、代表取締役として長く経営に携わった。



作家 井上靖氏と (平成2年5月28日)

利三が高山民謡保存会会長を務め三味線を担当していたこともあって、自らも三味線を嗜み、小唄が好きでよく宴

さらに吹奏楽の指導者養成のため「飛騨吹奏楽研究会」を吹奏楽部顧問の先生たちと立ち上げ人材育成にも尽力した。この飛騨吹奏楽研究会と高山市民吹奏



デンパーベッチャーホールで、市吹奏楽団長とエンスレー氏と (平成12年10月2日)

計時は高山市民吹奏楽団の団長を三十年余り務めたが、中でも姉妹都市デンバーへ公式訪問団として三度の演奏旅行を行い、姉妹都市交流の大きな架け橋となった。

昭和四十五年には高山少年少女合唱団の立ち上げに関わり、保護者会長を十年余り務めるなど、団の活動をサポートしてきた。

昭和五十一年、利三、保浅太郎氏と共に飛騨地方の民謡をレコード化した「飛騨民謡集」を作成した。これにより盆踊りの「飛騨やんざ」や「高山音頭」「めでた」「東海道」などを後世に遺すことができ



CBC高山放送局で飛騨民謡集録音(左から計時、利三、保浅太郎氏)

計時の足跡とその思いは現在の若者たちに引き継がれ、さらなる飛騨の音楽文化の発展に寄与していると思うのと同時に、次なる世代に大いに期待したい。(平成二十八年没)

道伝えの日茶会・飾り物入賞作品展 中止のお知らせ

道伝えの日茶会は、平成十七年の高山市文化伝承館開館当初から行っている恒例行事ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年四月の開催は中止となりました。既にお茶券をお求めの方に返金いたしますので、購入された方(社中)へお申し出ください。

オリンピック記念飾り物展 延期のお知らせ

オリンピックの延期に伴い、予定していた記念飾り物展も延期とさせていただきます。オリンピックの日程が決まり次第、新たな日程をお知らせいたします。

高山市文化伝承館「木もれ日の読書室」のご案内

高山市伝承館では、日本の名作文学を集めた「木もれ日の読書室」を開設しています。



日本を代表する作家の名著の初版を復刻した『名著復刻全集』全百一冊が納められた書棚を開放しており、文化伝承館の室内及び敷地内でご覧いただけます。春になり陽気もよくなってきました。城山公園の散歩の途中に休憩を兼ねて、気軽に立ち寄りください。

場所 高山市文化伝承館 (城山照蓮寺前の階段を下る) 時間 午前九時～午後五時 利用料 無料

休館日 毎週月曜日、年末年始(ゴールデンウィーク、お盆(他に臨時休館あり)) 主な作家 島崎藤村、志賀直哉、永井荷風、河東碧梧桐、芥川龍之介、泉鏡花、北原白秋、夏目漱石、石川啄木、森鷗外、宮沢賢治、与謝野晶子、有島武郎 他

第44回 飛騨文芸祭作品募集

一、応募資格

飛騨地域三市一村に在住か

在勤、出身の方

二、対象作品

令和元年八月十六日から令和二年八月十五日までに創作または発表した作品(既発表作品も可)

- ①小説、戯曲(脚本)、児童文学等 一篇
②随筆(エッセイ)等 一篇
③評論 一篇
④現代詩 三篇
⑤短歌、俳句 十首(句)
但し、高校生以下は五首(句)
※前記篇(首・句)を超えて

も不足しても審査の対象となりません。

※①③をプリンタで印刷する場合は、原稿用紙形式で印刷・提出してください。

※短歌・俳句などでは、旧仮名・新仮名の使い分けを明確にしてください。

三、応募方法

○応募作品に、作品の区分(小説、短歌など)、〒、住所、氏名(筆名)、電話番号を記入
○高校生以下の応募者は、学校名と学年を明記

○封筒に「文芸祭応募」と記入
○既発表作品の場合は、印刷物又はコピーによる提出も可

※対象作品中①③の入賞作については、デジタルデータ

を提出していただきます。

四、応募締切、送付先

○八月十五日(当日消印有効)
○郵送 〒五〇六・〇〇五三 高山市昭和町一・一八八(二社) 高山市文化協会事務局宛

○メール mail@takayama-bunka.org

○高山市民文化会館窓口へ直接提出も可

五、審査、発表

○高山市文化協会文芸部委員と文芸部門選出の役員で予選し、最終審査は必要に応じ専門の経験者を加えることがあります。

○九月中に入賞者へ通知、十月の広報「高山の文化」等にて発表

六、賞

以下の賞に対し、賞状と副賞を授与します。

Table with columns: 月日, 事業名, 内容・場所. Lists various cultural events and activities throughout the year.

※この他にもいくつかの事業を予定しています。日程は変更する場合がありますので、ご了承ください。

永年功労者顕彰

永年に亘り、一般社団法人高山市文化協会役員として、その発展に尽くされた方々を、3月23日に開催した文化協会総会にて顕彰しました。(順不同)



中田真理



中田裕一



大門孝藏



下仲幸子



浅野晶子



中林利数



安藤 桂